令和５年度　年間指導計画　３年　合田淳郎

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
９月 10 月	**２．学習したことを生かして書こう**			
	三年間のまとめ (教科書 P54-55) ◎３年間で学習したことを確かめることができる。[伝国(2)ア，(1)ウ(イ)]	**知識** **２**	１「学習の窓」を一覧し，３年間で学習したことを振り返る。 ２ 設問①～⑤に取り組む。 ３ それぞれの設問と関連のあるページを「学習の窓」一覧から探し，自分の回答を見直す。 ４ 教科書 P56 の欄外を見て回答を確かめ，点画の省略や筆順の変化など，設問に関連のある知識を確認し，定着させる。	【態】３年間で学習したことを振り返り，主体的に課題に取り組もうとしている。 【知】課題に取り組み，３年間で学習したことを確かめている。
11 月 12 月	**未来に向かって** (教科書 P56-57) ◎これまでに学習したことを生かして，卒業を記念する作品を作ることができる。[伝国(2)ア，(1)ウ(ア)(イ)，B(1)ア・イ・エ] 書き初め作品	**硬･毛** **４**	**【学習活動例①】** １ これまでに学習したことを生かして，毛筆で「輝ける未来へ」を書く。 ２ 台紙に貼り付けて卒業記念作品として掲示し，感想を交流する。 **【学習活動例②】** １ 写真や記録を持ち寄り，これまでに学習したことを生かして，「自分史」や中学校３年間の歩みを振り返る冊子を作成する。 ２ 卒業記念作品として掲示したり，「話すこと・聞くこと」と連携して発表会を開いたりする。	【態】これまでに学習したことを生かし，主体的に作品を作っている。 【知】これまでに学習したことを理解している。これまでに学習したことを生かし，卒業を記念する作品を作っている。
１月 ２月 ３月	**[発展]先人の文字に学ぶ** (教科書 P58) ◎これまでに学習してきた漢字や仮名が，先人の優れた筆跡を基礎として発展してきたものであることを理解する。[伝国(2)ア]	**知識** **１**	１「蘭亭序」「高野切第三種」を鑑賞し，これまでに学習してきた漢字や仮名が，先人の優れた筆跡を基礎として発展してきたものであることを理解する。 ２ さまざまな書き手による「道」「風」を鑑賞し，同じ書体であっても書き手によってさまざまな個性が見られることを理解する。 **【学習活動の応用例】** ○「恵風」「ひと」「道」「風」から書きたいものを選び，臨書（古典に倣って書くこと）に挑戦する。	【態】先人の筆跡に関心をもち，現在の文字とのつながりを見つけようとしている。 【知】これまでに学習してきた漢字や仮名は，先人の優れた筆跡を基礎として発展してきたものであることを理解する。 【知】同じ書体であっても，書き手によってさまざまな個性が見られることを理解している。
	[コラム]手書きの力 (教科書 P119) ◎手書き文字のよさについて考えることができる。[伝国(2)ア]	**知識** **１**	１ 谷川俊太郎の筆跡を鑑賞し，手書き文字に対する思いを読んで，そのよさについて話し合う。 **【学習活動の応用例】** ○ 巻頭の詩「文字と出会う」に立ち戻り，手書き文字のよさを再認識するとともに，これからも文字との出会いを大切にしていこうという意欲を高める。	【態】手書き文字のよさや特性について，主体的に考えようとしている。 【知】手書き文字のよさや特性について，さまざまな側面から理解を深めている。